

2023年1月4日

博報堂、JT、ユカイ工学と共同開発した呼吸するクッション「fufuly」（フフリー）
CES 2023 Innovation Awards を受賞
—東大の呼吸や休憩に関する研究を活用した呼吸誘導型のロボットクッション—

株式会社博報堂、JTとユカイ工学株式会社と共同で開発した呼吸するクッション「fufuly」（フフリー）が、『CES 2023 Innovation Awards（以下 Innovation Awards）』を受賞いたしました。

呼吸するクッション「fufuly」は、呼吸誘導型のロボットクッションです。東京大学が行っている呼吸や休憩に関する研究をベースに、まるで呼吸をするように膨らんだり縮んだりするテクノロジーを活用し、博報堂、JT、ユカイ工学が共同開発いたしました。



Innovation Awards は、Consumer Technology Association（CTA：全米民生技術協会）が所有・運営するプログラムで、28のコンシューマー・テクノロジー製品カテゴリーにおいて、優れたデザインとエンジニアリングを表彰するコンテストです。今年は過去最多となる2100件以上の応募がありました。メディア関係者、デザイナー、エンジニアなどを含む業界専門家の審査員が、革新性、技術力、機能性、美観、デザインなどに基づいて応募製品を審査しています。

今回の受賞を受け、2023年1月5日（木）～8日（日）に米国ラスベガスにて開催される「CES 2023」のインベション・アワードショーケース展示に出展いたします。

※CES® is a registered trademark of the Consumer Technology Association.

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂広報室 西尾

koho.mail@hakuhodo.co.jp

【参考情報】

呼吸するクッション「fufuly」



多忙な現代人は日常的に身体的・精神的にストレスを抱えています。現代社会を生きる人々にもっと休息や休憩を意識し、促したいとの考えから、息を整えたり、自然と深呼吸ができるようなプロダクトができないかと考えました。

そこで、生物が持つ「呼吸の引き込み現象(*1)」に注目し、クッションの伸縮から、抱えるだけで無意識に呼吸のリズムと深さの両方が同調される仕組みをプログラムに取り入れました。

東京大学の研究(*2)によると、ロボットの動きに合わせて、呼吸のリズムと深さが誘導されることが確認されています。

(*1) 動物が呼吸するとき、触れ合っている仲間の呼吸につられるという現象。

(*2) Yuki Ban, Hiroyuki Karasawa, Rui Fukui, Shin'ichi Warisawa : Development of a Cushion-Shaped Device to Induce Respiratory Rhythm and Depth for Enhanced Relaxation and Improved Cognition. *Frontiers Comput. Sci.* 4: 770701 (2022)

使い方

使い方はとっても簡単。スイッチを入れて、抱きかかえるだけ。



for rest

ちょっと一息つきたいとき。
すぐあなたに、癒やしの時間を。



for work

仕事に集中していると、呼吸は浅くなりがち。
仕事や合間に使うと、気分転換になって、
いい仕事ができるかも。



for sleep

なんだかうまく寝れない日。
寝る前に抱えて、心地よいベッドタイムに。